

第3部
基本計画【後期】



第2章 人と環境にやさしいまちづくり 4 災害に強いまちづくり

施策 1 防災・減災対策の充実……………防災

施策 2 耐震化の推進

施策 3 消防体制の充実……………消防



防災

現状分析 大規模災害時において、被害の拡大を防ぐために、国、県、市の対応だけでは限界があります。また、近年、滋賀県内で大規模な自然災害が発生していないため、防災意識が低いことが懸念されています。

達成目標 自主防災体制と危機管理体制が整った、防災意識の高いまちをめざします。

施策 1 防災・減災対策の充実

担当部： 総務部

指標名	単位	基準値 H22	H23	H24	H25	H26	H27	目標値 H28
自主防災組織の組織率	%	72.1						80.0以上

取り組み

主な事業

- ・防災訓練の実施や防災研修会を開催します。
- ・自主防災組織の設置促進と活動を支援します。
- ・自主防災組織の資機材整備を支援します。
- ・自主防災組織間の交流活動による活性化の取り組みを支援します。
- ・災害図上訓練の講師を養成し、地域で効果的に実施します。
- ・防災行政無線を適正に管理します。

市民活動情報 No.26

自主防災組織

自治会などの単位で自主防災組織を組織し、防災訓練の実施、災害用資機材の整備、地域防災マップの作成や災害時の要援護者避難への対応などの取り組みが行われています。

市民活動情報 No.27

災害時応援協定

災害時における様々な応急復旧活動に関する人的・物的支援について、市と企業・団体が応援協定を締結しています。

■ 関連する主な個別計画

- ・東近江市地域防災計画(H17～隨時見直し)
- ・東近江市国民保護計画(H18～隨時見直し)
- ・東近江市既存建築物耐震改修促進計画(H20～H27)

○総合計画基本構想及び前期基本計画にあるまちづくり基本方針及び、基本的施策を引き継いでいます。

○基本的施策内の施策の体系を表しています。
○「施策」は、具体的に取り組む施策名と、その分野を記載しています。

○「現状分析」は、どのような問題が残っているのかなどを簡潔に整理しました。

○「達成目標」は、「現状分析」で把握した問題が、どのような状態になることを目標にするかを簡潔に整理しました。

考え方

「現状分析」の状態を



「施策」実施により



「達成目標」の状態にする

○「施策」は上記「施策」のとおり。

○「担当部」は、「施策」を所管する「部」を記載しています。

○「指標」は、施策の達成の状態を測るものとして設定しています。

○施策の性質上、達成の状態を表すことが難しいものについては、事業の投入量などの活動の量を指標として設定しています。

○「基準値」は平成 22 年度、「目標値」は平成 28 年度としていますが、最近の統計数値がない場合など、年度が違う場合は該当年度を明示しています。

○「目標値」は、今までの施策の取り組みから考えられる成果や、国県や他団体との比較、個別計画にて設定している目標値を参考に設定しています。

○「取り組み」は、施策の内容について、後期に取り組む事業内容を簡潔に表現しています。

○「主な事業」は、平成23年度時点の予算事業名を記載しています。

○「市民活動情報」は、市内で取り組んでいただいている市民や団体、企業などの市民活動について、紹介しています。

○具体的な取り組みを紹介することで、活動がさらに広がるきっかけになり、多くの人が参加し、市民活動が活性化することをめざしています。

○掲載した市民活動情報以外にも、市内には数多くの団体が活発に活動いただいている。

○「関連する主な個別計画」は、平成23年度末時点で策定済みの市の計画について記載しています。

東近江市総合計画【後期】の体系図

